

JASO発 暮らしつづける街へ (Part 2) <第 39 回>

JASO推奨品・推奨広報の認定制度

技術情報委員会委員長
佐藤寿一



JASO協力会担当理事
平野 広



はじめに

JASOは、1995年の阪神・淡路大震災を契機に「人々の生活を地震から守る」ことを目標に、総合的な「耐震」に取り組むことを理念に掲げ設立された。今日、耐震化の必要性は社会的な認識となり、建物の耐震に関するさまざまな補強工法などが開発されている。しかし、現在の耐震化は建物の倒壊による圧死を防ぐ建築構造躯体の耐震化にとどまっており、被災後の生活を守るものにはなっていない。

昨年1月の能登半島地震では多くの木造住宅が倒壊したが、倒壊を免れた家屋に居住する者も生活が維持できず避難を余儀なくされた者が多い。被災後も生活が維持されなければ本当の意味での耐震化とは言えない。

JASOは、生活者の視点に立って地震に対する安全性を総合的に捉え、耐震化を構造躯体だけでなく、建築二次部材、建築設備を含む建物全体の問題として捉え活動している。

1. JASO推奨品・推奨工法の目的

JASOの定款に定める非営利活動の事業には、「耐震工法、製品開発への協力および支援」が掲げられている。

推奨品・推奨工法の認定制度は、耐震化に関わる製品や施工法などに関し、高性能であるもの、効果のあるもの、

デザインや使い勝手の良いものを推奨することでその普及を支援し、建物の耐震性や安全性の向上を図ることを目的としている。

推奨品・推奨工法認定の対象は、建物の総合的な耐震性を向上させることに効果のある以下のものとしている。

- ①大規模地震時の建物等の被害を軽減するための製品又は部材
- ②耐震化を進める上で有効な工法
- ③その他、大規模地震から生活を守ることに寄与する技術の開発

なお、推奨品・推奨工法の認定を取得した者は、「製品等を社会に広報する際にJASO推奨品の認定を取得した旨を掲示することができる」としている。

2. これまでに認定された
推奨品・推奨工法

JASOでは2012年以降、これまでに17の推奨品・推奨工法を認定している。第1号の認定は、(株)アイ・エスが開発した「2DOORデレマース」で、この製品は地震時に重要な避難経路となる玄関ドア内に子扉を設けることで、壁が損傷して枠のゆがみなどにより玄関ドアの閉鎖が困難になった場合でも扉内に設けられた子扉から出入りが可能であり、避難後の盗難防止用に施錠もできる。

既設の扉枠にも取り付けることが可能であることから

マンション等の大規模修繕の際に採用される例も多く、JASO事務所の出入り口ドアもこの扉に付け替えられている。JASO事務局に来る機会があれば是非確認してほしい。これまでにJASO推奨品・推奨工法として認定されたものは、第1号の「2DOOR デレマース」も含め、次ページ下表のとおり。紙面の都合でそれぞれの特徴などは紹介できないが、関心のある方は是非JASOホームページを閲覧願いたい。



JASO推奨品認定第1号

3. 推奨品・推奨工法の認定手続き

推奨品・推奨工法の認定は、JASO内に設けられた技術情報委員会が所管しており、その流れは以下の通り。

- ①申請者(メーカー、施工会社等)が、認定を受けようするときは、申請書に当該製品等に係る性能、効果を実証する試験、測定結果などの必要な書類を添付して申込む。
- ②技術情報委員会は申請内容を確認し、推奨品認定の申請に応じるときは、その内容に応じ適切な担当チームを組織し、審査を行う。(審査に必要があれば、申請者に対しヒアリング、実査等を行う。)
- ③技術情報委員会は、当該申請に係る製品等の推奨の可否を決定したときは、直近の理事会に報告する。
- ④当該推奨品を認定したときは、JASOホームページ、出版物、セミナー等適当な機会を捉え会員内外に周知する。

4. これからの課題と取組み

JASOは、2012年以降これまでに17件の認定を行ってきたが、大規模地震に備え、地震後の生活を維持するためには、更に多くの有用な製品、工法を社会に広める必要がある。JASO推奨品・推奨工法の今後の取組み課題として以下の2点を掲げる。

①更に認定品等を増やすために

JASOが認定した製品、技術などは、多くの企業、団体が耐震化の必要性を認識し、技術開発を行ったものの一部に過ぎない。これまで認定されたものは、JASOの活動理念に共感して共に活動する企業やJASO会員が耐震化を実践する現場で直接知り得た製品などが多い。

耐震化に有効な製品・工法は、多くの企業や団体が独自の創意工夫で開発に取り組んでいるが、そうした企業は大きな企業ばかりではない。自身で開発した製品等を社会に広めることに限界を感じている企業もあると思う。そうした企業等を支援し、有用な製品等を社会に広めるため、更に活用しやすい認定制度とする必要がある。

②認定した推奨品等をどのように広めるか

技術情報委員会では、認定した製品等を社会に広めるために推奨品・推奨工法を取得した企業団体にアンケート調査を行ったことがある。しかし、未だ有効な方法を見いだせていない。


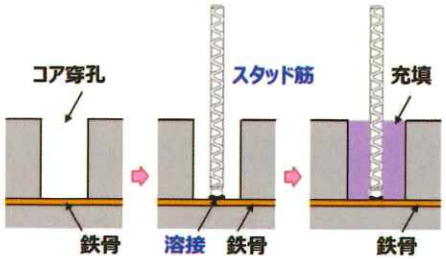

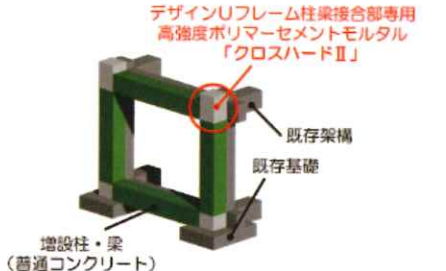
今後の取組みとして、これまでに認定した企業、団体と協力して認定製品、工法をまとめた冊子を作成し一般に配布することや、耐震化に取り組む自治体へ総合的な耐震化の必要性を働きかけて行く必要がある。

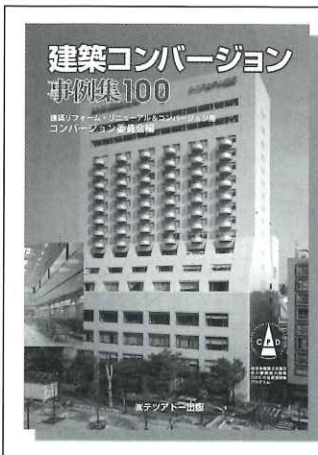
建物の耐震化は、如何にして総合的な耐震化を進め、安心して暮らすことの出来る住環境を実現するかが目標となる。「推奨品・推奨工法の認定」の取組みは、建築構造の耐震化と比べ地味ではあるが人々の生活を守る上では重要な取組みである。震災から人々の生活を守る為に必要な要素は数多くあり、JASOは今後も耐震化のための製品や技術の開発を進める企業や団体と協力して、より安全な住環境の構築に向けた取組みを進める。

そうした取組みを進める上でJASO推奨品・推奨工法の認定制度は、その一助になると考えている。

JASO 推奨品・認定番号

認定日	推奨品認定番号	商品名	概要	社名	URL
2012/3/16	No. 001	デレマース	地震発生時避難用子扉付玄関ドア	(株) アイ・エス	http://is-door.com/
2012/7/20	No. 002	機械式緊急遮断弁	地震発生時に受水槽の出口側を遮断して水槽内の水を確保する震災対策用の遮断弁	(株) ベン	https://www.venn.co.jp/
2013/4/22	No. 003	鋼板製一体型タンク	鋼板を溶接し一体成型した構造を持つ貯水タンク	鋼板製一体形タンク工業会	https://www.ki-tank.org/
2015/6/29	No. 004	AWAT(あわっと) 工法	泡溶液を用いた あと施工部分スリット工法	(株) エフアイティー	http://fit-tokyo.co.jp/
2017/5/26	No. 005	耐・スリ・ゴン	ゴンドラによるあと施工部分スリット耐震改修工法	リノ・ハピア (株)	https://reno-happia.co.jp/
2018/12/21	No. 006	ストラブ・グリップ Gタイプ	管端部の二次加工が不要な配管用メカニカル継ぎ手	ショーボンドマテリアル (株)	https://www.sb-material.co.jp/
2018/12/21	No. 007	CASシステム	あと施工アンカーの代替工法として適用できる溶接スタッド鉄筋工法	(株) エフアイティー	http://fit-tokyo.co.jp/
2019/11/22	No. 008	スマイルジョイント	電気融着を行わない高性能ポリエチレン管用メカニカル継手	ジャパン・エンジニアリング (株)	https://www.japan-eng.co.jp/
2019/11/22	No. 009	ピタコラム工法	既存の架構外側に補強鋼板(プレート)をあと施工アンカーで接合し、プレート内蔵の鉄筋コンクリートを打設する工法	矢作建設工業 (株)	https://www.yahagi.co.jp/
2019/11/22	No. 010	スマートピタ工法	既存の架構外側に鉄骨をあと施工アンカーまたはディスクシアキーで直接接合し、柱梁交差部の外周面に格子型鉄筋を配置しコンクリートを打設する工法	矢作建設工業 (株)	https://www.yahagi.co.jp/
2019/11/22	No. 011	セスレット工法	既存の架構外側に鉄骨をあと施工アンカーで接合し、繊維補強コンクリートを打設する工法	矢作建設工業 (株)	https://www.yahagi.co.jp/
2019/11/22	No. 012	管用テーパ転造ねじ (加工機)	塑性加工により、接合強度・火無し工法・後期短縮に有効で耐震強度向上と環境性に寄与できる工法	レックス工業 (株)	http://www.rexind.co.jp/jp/
2020/9/18	No. 013	デザインUフレーム工法	R C造およびS R C造建物の外側にR C造のフレームを接合する耐震補強工法	デザインフィット工法協会	https://www.design-fit.jp/
2020/11/20	No. 014	サイド・ポ・スト工法	既存のそで壁付柱のせん断強度を増大させる耐震補強工法	三和アルミ工業 (株)	https://www.sanwa-alumi.com/
2021/7/16	No. 015	スーパータフポリ	建築設備用ポリエチレンパイプ (E F接合、Eロック接合、ハウジング接合)	(株) クボタケミックス	https://www.kubota-chemix.co.jp/
2022/5/20	No. 016	ブラストキー工法	低音・低振動・低粉塵による環境に配慮した次世代型のチッピングに代わるしい目荒らし工法	(株) E & C S ブラストキー研究会	http://www.kk-ecs.co.jp/
2022/10/20	No. 017	ノンピック工法 (NP工法)	狭い場所や足場上、パイプシャフト内などにも施工可能な後施工スリット工法。 日本建築防災協会の技術評価書 (建防災発第 30120 号/令和 3 年 8 月 31 日) を取得済	(株) ロンビックジャパン	http://www.lonbic.co.jp/

		
<p>認定番号 No. 002 機械式緊急遮断弁</p>	<p>認定番号 No. 007 CAS システム 施工手順</p>	<p>認定番号 No. 009 ピタコラム工法</p>
		
<p>認定番号 No. 017 ノンピック工法</p>	<p>認定番号 No. 013 デザインUフレーム工法</p>	<p>認定番号 No. 008 スマイルジョイント</p>



建築コンバージョン 事例集100

CPD

“CPD2単位”を取得できる
自習型研究プログラムを登載!

CPD制度【建築士会継続能力開発制度】
…建築士会が継続能力開発を行っている
人の実績を確認して証明し、表示する制度。

■A5判 230頁
■本体価格3,048円 (+消費税)

株式会社テツアト出版

「空室の目立つオフィスビルが賃貸マンションに」「廃校となった小学校を宿泊施設に」…時代の変遷とともに当初の目的が失われた建物の“価値ある部分”を有効に活かし、新しい用途の建物へと再生する「コンバージョンは」急激に注目を集めています。

本書は「Before & After」の写真及び物件概要等を記載した詳細編と、コンバージョンに至る経緯等をストーリー性をもって表現した取材編から構成。

お問合せ TEL 03-3228-3401